

令和 5 年度 墨田区立外手小学校 経営報告書

学 校 目 標	「世界へ か・が・や・け 外手の子」 かんがえる子、がんばる子、やさしい子、けんこうな子
目 指 す 学 校 像	・子や孫を通わせたい学校 保護者や地域の方々が自分の子や孫を通わせたいと思っていただける学校を目指します。そのためにまず安全で安心な教育環境を整えます。その中で児童に「知・特・体」をしっかり身に付けさせ、全ての児童が輝く学校づくりをします。
目 指 す 子 供 像	・自分もひと大切にできる子 自他の生命を尊重し、思いやりをもって他者に接することのできる子を育成します。自分を大切にすることは心身の健康を保持増進すること、夢や希望をもって生きること、自己実現を目指すことの礎です。ひとを大切にすることは思いやりを地域へ世界へと広げて社会性の礎とし、自然愛護、環境保護、人権尊重の精神の涵養につなげます。
目 指 す 教 師 像	・使命感のある教師 児童のことを第一に考えて職務に取り組み、自らの指導力を向上させ、努力を惜しまず仲間と支え合い協力する教師を目指します。

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施等	A	めあて、まとめ、練習の授業展開の定着を図る。1人1台タブレット端末を活用した意見交流や発表の工夫と充実を図る。	A	A
	特別な支援を必要とする子供に対するの、組織的な支援等	B	引き続き月1回特別支援校内委員会で状況把握や情報共有、組織的な支援の実施と成果検証、改善を行う。「まなびの教室」拠点校として効果的な指導や支援を推進する。	B	A
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等	A	「キャリア・パスポート」を活用して自己理解や個性の伸長を図り、自分らしい生き方を実現する機会を充実する。	A	A
	教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等	B	指導力・授業力の向上の校内研究、OJT研修、Off-JTを積極的に推進する。児童理解に基づく学級経営、専門性を生かした専科経営を指導助言し主体的な相互研鑽を推奨する。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	墨田区学力状況調査の結果はほぼ全ての学年教科で全国平均正答率を上回っている。引き続き、学力の定着と向上のために努力してほしい。また、タブレット端末を効果的に活用し、子供たちにとって楽しく分かりやすい授業を実施してほしい。			
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
生活指導等	いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等	B	意識調査(I check)や「心すっきりカード」を活用し、児童個人や学級全体の状況を把握する。高学年はSC全員面接により悩みや困りの早期発見・積極的対応・解決をしていく。	B	A
	基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等	B	道徳授業や日常的な指導等全教育活動を通じて、人として大切なこころの教育を推進する。家庭・地域との連携を密にして児童が楽しく学校生活を送れるような取組を工夫・充実する。	B	A
	危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等	A	計画的な安全指導・実践的な安全教育に引き続き取り組む。環境整備も充実し、規範意識や危険回避能力を育成していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	学校行事や学校公開が再開され必要な情報は提供されている。支援が必要な子や児童トラブルの対応等苦労も多いと思うが組織的に対応できている。児童の安心・安全のために共に解決に向けた議論をしていくので守秘義務がある学校関係者にはマイナスの情報も発信してほしい。			
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について

様式 4

令和 6 年 3 月 1 1 日

学 校 の 管 理 運 営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等	B	教職員間のコミュニケーションと相互支援により、組織的な教育活動、学校運営を行う。「チーム外手」として校長のリーダーシップの下、主体的で協働的な教育活動を推進する。	B	A
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等	B	本校の特色や真に必要なことを見つめ直し、従来の取組の成果と課題を明確にし、実態に応じた見直しや工夫改善を図る。児童や保護者、学校関係者の意見を取り入れ、新たな取組、充実する取組、継続する取組、縮小する取組を考えていく。	B	A
	教育環境・設備の整備状況等	A	施設設備の維持と適切な活用、厳正な点検整備、区との連携により、児童により安全で快適な教育環境を提供していく。	A	A
	教職員のサービスの厳正の取組等	B	服務事故ゼロを目指し最新の報道や今日的な問題の情報提供、実践的な研修を進め、児童保護者の安心と信頼の向上を図る。	B	A
	教職員のライフワークバランスの取組等	B	教職員の意識改革、職務の効率化、スリム化を図ると共に、区支援の要望、働き方改革への保護者等の理解促進を図る。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	外手小のよさを学校関係者はよく知っているがもっとアピールしてもよいのではないか。学校経営方針、経営計画を丁寧に説明して理解推進を図るだけでなく、児童の様子や他にないよい取組をHPその他あらゆる機会を捉えて積極的に発信してほしい。			
項 目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家 庭 ・ 地 域 連 携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等	B	ホームページの内容充実と更新頻度増により活用し閲覧数を増やす。また、COCOOのルール決め便利に使えるよう整理工夫して、配信・出欠確認以外でも効果的に活用していく。	B	A
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等	A	P T A や子供会、町会、関係諸施設等と連携して児童が地域になじみ、地域の方々が学校に来やすい取組を企画・実施する。	A	A
	異学年集団活動の充実等	B	学校に来るのが楽しみになるような行事やイベントを児童の意見をもとに企画・実施する。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	地域や家庭はそれぞれできることで学校に協力をしたいと考えている。それを当たり前と思わずに地域行事や取組の意義や価値を理解して、子供たちのために心を込めて地域や保護者と共に力を尽くす学校であり教職員であって欲しい。			

2 令和 5 年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長の学校経営方針を教職員が受け止め、児童の指導に真摯に取り組んでいる。ベテラン教員と若手教員がともに学び合い支え合う姿は「チーム外手」を掲げる組織運営の成果と感じている。</li> <li>・学校行事が再開して、もとの戻ったと言うよりも形や内容を工夫して開催することができた。子供たちが楽しく安全な学校生活を送れるようになったことは喜ばしいことである。</li> <li>・情勢の変化や多様化した価値観、コロナ禍の影響等により学校だけでは解決しえない課題も少なくない中、今後ますます学教教育の果たす役割は大きくなっていく。様々な人々と協働して教育活動を展開し、学校目標「世界へ か・が・や・け 外手の子」の実現に向けて尽力していく所存である。</li> </ul>
---

以上の通り報告いたします。

墨田区立外手小学校 校長 柿沼 広美

